

新型転換炉「ふげん」発電所の経緯及び運転実績

(1)これまでの経緯

昭和43年	8月18日	新型転換炉原型炉の建設候補地を日本原子力発電(株)敦賀発電所の敷地内に決定。
昭和45年	3月2日	原子炉設置許可申請
昭和45年	4月8日	名称を「ふげん」と発表
昭和45年	11月30日	原子炉設置許可
昭和45年	12月1日	建設着工
昭和53年	3月20日	最小臨界(22体のMOX燃料による。全燃料装荷炉心による初臨界5/9)
昭和53年	7月29日	初併入
昭和54年	3月20日	本格運転開始
昭和56年	9月7日	わが国初の国産MOX燃料を装荷(発電再開10/10)
昭和59年	5月11日	軽水炉燃料から回収したウランを使用したMOX燃料集合体4体を装荷(発電再開6/28)
昭和63年	5月31日	「ふげん」核燃料サイクルの輪を完結(ふげん使用済MOX燃料から回収したプルトニウムの装荷、発電再開6/27)
平成元年	12月18日	総発電電力量100億kWh達成
平成12年	5月5日	総発電電力量200億kWh達成
平成15年	3月29日	運転終了(予定)

(2)総発電電力量 約219億kWh(平成15年3月)

(3)発電時間 約134,437時間

(4)設備利用率 約62%